

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホームれんぎょう 西館		
所在地	笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	令和 4年 8月 24日	評価結果市町村受理日	令和 4年 12月 7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0873200349-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 いばらき社会福祉サポート
所在地	水戸市大工町1-2-3 トモスみとビル4階
訪問調査日	令和4年10月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節ごとの行事、カラオケ・外気浴など楽しみながら過ごすことが出来るように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所を運営する母体は医療機関であることで、利用者の健康管理は月2回の往診から定期的な受診、週1回の母体の看護師による健康管理、緊急時には24時間搬送可能な体制で利用者が安心して暮らせるほか、家族等や職員の安心に繋がっている。運営者は健康管理や楽しみは食と考えており、米や魚、肉などこだわりを持ち指定した業者からの食材の調達をしており、運営母体の管理栄養士の献立による食材が事業所に届き、職員が利用者の状態に応じた調理をして提供することで、毎日の食事が利用者の楽しみとなっている。管理者は職員の気づきや提案などがあつた際には反論せずすぐに試みることで、職員一人ひとりのやる気とチームワークを作りあげながら利用者の支援に努めているほか、職員が楽しく、長く働ける環境にも繋がっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を提示することで共有し実践できるように努めています。	管理者と職員は理念を年度初めに見直し、現在に合う理念を作った。いつでも確認できるよう各ユニットに掲示し、理念に沿ったケアができるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などに行く機会がほとんどなくなった為日常的な交流はありません。	中学校の職場体験を制限を設けながら受け入れ再開する予定である。近隣住民からの野菜の差し入れがある。コロナ禍で自粛しているがボランティアの受け入れなども徐々に再開する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症への理解は進んでいると思いますが事業所からの発信はしていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で事業所の報告をするとともに身体拘束などについて話し合うことでサービスの質の向上に努めています。	感染状況に応じて、書面や対面での対応しながら開催している。事前に、課題を書面や電話などで聞く仕組みをとっているが、それぞれの委員の感想のみで、運営に反映した意見を得るまでには至っていない。	事前に投げかける課題は、運営に反映する意見が得られる課題を取り入れて活発な運営推進会議となることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	会議を通じて協力関係が出来るように努めています。	申請には窓口を訪れ、事務手続き等でわからないことがあれば、電話等ですぐに相談をしている。生活保護受給の利用者の対応について市の福祉担当職員とは常に電話連絡など密接な情報交換を行いながら相談し連携を図るなど、協力体制を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていますが、身体拘束のない介護が出来るように努めています。	管理者は職員に言葉遣いに関する指導をしている。日中玄関のドアの施錠を行っているため、利用者家族には入居時に同意書ももらっている。職員は定期的に研修を受け、身体拘束のない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待となることがないように言葉にも十分注意しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について学ぶ機会はありませんが施設内に成年後見人を利用している方がいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始時に十分説明し納得を頂いてから契約を結んでいただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来所時に施設内での様子を伝えながら、その時に意見や要望などを聞いています。	管理者と職員は、面会時には家族に必ず話し、意見を聞く機会を持っている。家族等のない利用者で成年後見人制度を利用している入居者がおり、対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで話し合いをして出た意見を上司に伝えるようにしています。	日頃から業務中に気づいたタイミングで聞き取っている。職員の困りごとは随時話し合っ解決している。いつも同じおやつになってしまっているのを、職員の提案で手作りおやつを作るようになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の家庭環境に配慮があり希望休を入れてもらっている。職員同士の相性にも配慮されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加の呼びかけがあり、参加できるように努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	あまり交流の機会はありませんが、病院の待合室や定例会議の場で情報交換はしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始時に十分話し合い、生活歴の情報をもとに常に声かけや話しかけをしながら安心して生活ができるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始時に十分話し合い出来る事、出来ない事もきちんと伝えることで良い関係が築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今、必要なサービスが受けられるように対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は見守りし、一緒に活動することで共に暮らす者同士となるような関係作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族と連絡を取り合いホームで出来ない事をお願いしたりしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時には気兼ねなく過ごすことが出来るように配慮しますが、現在は自粛して頂いています。本人の要望があれば電話などの連絡をしています。	入居時にアセスメントシートに生活歴を記載して職員間で情報共有している。家族等との特別な場所への外出などは現在自粛している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がトラブルにならないように配慮しながら助け合うことが出来るように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了は死亡退居が多いため継続しての関係はありません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や思いを大切に、伝える事が困難な利用者に関してはノンバーバルコミュニケーションをして把握するように努めています。	何気ない日常の会話の中から把握するようになり、雰囲気や察するよう心掛けている。利用者への質問はイエス、ノー形式にして答えやすくするなどの工夫をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーや診療情報提供書、家族からの聞き取り・本人からの聞き取りで今までの生活の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや個人の記録から日々の変化や現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	体調の変化・利用者とのコミュニケーションにより気づき話し合うことで、今必要なケアについて話し合い介護計画を作成しています。	日々暮らしの中での課題とケアについて随時意見交換し、担当者会議で話し合うようにしている。モニタリングは3ヶ月に1回実施し、基本1年で見直しており、状況に変化がある場合には随時見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りや個人の記録などで情報を共有できるように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時に話し合いをして柔軟に対応できるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用はあまりありませんが、各個人が楽しく暮らすことが出来るように努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はありますが、他病院を受診するときは家族の協力を得ています。家族に送迎、付き添いをお願いしています。	運営母体の看護師が週1回健康観察に来訪している。協力医療機関からの送迎車を利用して職員が付き添い、2週間に1回定期診察を受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員同士で情報を共有し、医師や看護師に随時相談して適切な受診が出来るように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーなどで情報交換し安心して療養が出来、早期退院が出来るように話し合いをするように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りはしていませんが、家族や本人の思いに添えるように医師・家族と相談しながら随時話し合っています。	看取りは行わないが、重度化しても食事が経口摂取できなくなるところまでは事業所で支援できることを家族等に説明している。状況に応じて説明を行い、家族等や本人の意向の確認を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習には参加しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行い、地域の方には区長と連携を図り参加をお願いしています。	夜間想定や総合避難訓練、緊急通報訓練も行っている。災害に備えて備蓄品を保管している。非常時には近隣住民の協力が得られることになっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各個人に応じた声かけをするようにしています。排泄の声かけなどはプライバシーに配慮するように気を付けています。	本人のプライドを損ねないような声かけに気を付け、名前を呼ぶときは本人の希望を確認して好みに応じて呼んでいる。人権尊重や守秘義務について研修を行うまでに至っていない。	定期的に入権尊重や守秘義務についての研修の実施を期待するほか、肖像権に関する同意書の作成が望まれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来るようように随時に声かけしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間は決まっていますが、各個人のペースに応じた対応が出来るように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で着るものが選べるように支援しています。身だしなみの直しもさり気なく声かけをしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の食べ方、荒刻み、刻み、ミキサー食など食べられるように合わせています。下膳できる方に台所のカウンターまで持ってきてもらっています。	利用者は下膳などできることを手伝っている。誕生日やクリスマスには手作りケーキで祝ったり、季節ごとの行事食を職員が考えて提供している。天気の良い日には職員と屋外でお茶を飲むなどしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量の記録や体重の変化で対応したり、水分の摂取も十分に摂れるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを個人の状況に応じて支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間オムツ対応の方もいますが、日中はトイレに行けるように支援しています。	利用者それぞれの排泄パターンを把握し、時間でトイレに促さず、利用者のタイミングで介助する等本人の自主性、自立性を重んじている。車いすの利用者もできるだけトイレでの排泄を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の記録を行い、便秘にならないように水分摂取や運動を勧めています。排便が3日ない場合は医師や看護師に相談しています。オリゴ糖の飲用で対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間は決まっていますが、個人のペースで入浴出来るように支援しています。また季節を楽しめるようにゆず湯や菖蒲湯なども行っています。	入浴の時間を大切に、職員も一人対応にすることで、普段話せないことも入浴中に表出してくれている。季節にはゆず湯やしょうぶ湯などを取り入れ、入浴が楽しみとなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は良く入眠出来るように外気浴をしたり運動を勧めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用や薬の内容について職員同士が共有できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各個人に出来る事はお願いして一緒に作業をするようにしています。テーブル拭きや洗濯物たたみなどお願いしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族や本人の希望がある場合、ご家族の付き添いで外出・外泊は可能です。今はコロナの為、遠慮いただいています。	玄関前にソファを出して外気浴をしながらお茶を飲んだり、体操やボール運動を支援している。家族等に依頼しながら外出支援をしているが、現在はコロナ禍で自粛している。コロナ禍前は敷地の周りを職員と一緒に散歩したり、通院時に送迎車でドライブをしていたが、現在は自粛している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理されている方は、1名だけです。ほとんどは家族管理です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの依頼があれば随時支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音や採光、室温に配慮して居心地よく過ごせるように支援しています。季節の花を楽しめるようにも工夫しています。	玄関は写真や観葉植物が飾られ明るく、亀を飼育している。居間兼食堂には小上がりがあり和室スペースで利用者がそれぞれ好きなどころで寛ぐことができる。窓も大きく明るい空間がある。利用者の作品や折り紙で飾りつけている他、ぬいぐるみ等もおいて明るい雰囲気を作っている。食堂兼居間には温度計や湿度計を置いて職員が管理している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前で過ごすことが多いですが、自身の好きな所で過ごすことができるように支援しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自由に使用されており、使い慣れた物の持ち込みをしている方もおります。プライバシーと室温に配慮しています。	使い慣れた品々の持ち込を家族等に説明し、自宅同様に過ごせるように配慮している。部屋の掃きだし窓から中庭の緑を眺めたり、洗濯物を干すことができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差をなくし手すりの設置や目印をつけることにより自立して過ごすことができるように支援しています。なるべく自身で出来る事は見守りとしています。		

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームれんぎょう

作成日 令和4年12月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	書面や対面に対応しながら開催している。事前に、課題を書面や電話などで聞く仕組みをとっているが、委員の感想のみで、運営に反映した意見を得るまでに至っていない。	運営に反映する課題を投げかけて、委員の意見を取り入れ反映するようにする。	委員の意見を取り入れて、感想だけでなく課題に反映するようにする。	2ヶ月
2	36	本人のプライドを損ねないよう声かけに気を付けているが、人権尊重や守秘義務について研修を行うまでに至っていない。	人権尊重や守秘義務について研修を行う。肖像権に関する同意をもらうようにする。	12月に人権尊重や守秘義務について内部研修を行う予定です。肖像権については、同意書を作成し今後、同意をもらうことにします。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号の欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。